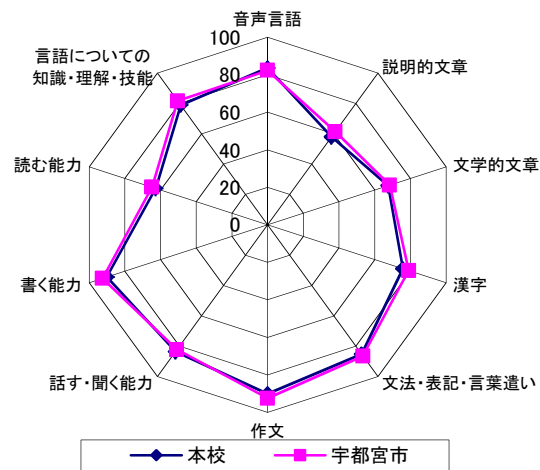


宇都宮市立瑞穂野中学校第1学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	83.5	82.3
	説明的文章	58.0	61.3
	文学的文章	67.5	68.4
	漢字	75.8	79.1
	文法・表記・言葉遣い	85.2	86.5
	作文	90.1	92.5
観点別	話す・聞く能力	83.5	82.3
	書く能力	90.1	92.5
	読む能力	62.7	64.9
	言語についての知識・理解・技能	78.9	81.6



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (83.5%)	平均正答率は宇都宮市を若干上回っている。「話の趣旨の聞き取り」では、市の平均よりも3.6ポイント上回っており、良好な結果となっている。	「話し方の工夫の聞き取り」においては宇都宮市より2.6ポイント上回っているものの、正答率は58%であり、今後は観点を決めたいうでの聞く学習が必要だと考える。
説明的文章 (58.0%)	平均正答率が58%と低く、宇都宮市の平均を3ポイント下回っている。特に「文脈に即した内容の読み取り」が苦手である。	「文脈に即した内容の読み取り」においては、正答率が宇都宮市の平均よりも7.3ポイント下回った34.1ポイントであり、教科書以外にも説明的文章を読む機会を増やし、筆者の意図や事実を正確にとらえさせたい。
文学的文章 (67.5%)	平均正答率は宇都宮市を若干下回っている。「登場人物の心情」にあてはまる言葉を選択する問題では、市の平均を10.2ポイント上回ったが、【気持ちを説明する文章】では8.2ポイント下回っている。	文学的文章の読み取りにおいては、心情描写の部分を中心に、登場人物の言動に注目させ、「登場人物の心情」を要約したり説明したりする学習に力を入れていきたい。
漢字 (75.8%)	宇都宮市の正答率を3.3ポイント下回っている。「小学校6年の漢字の読み」では、市の平均を7.5ポイント下回っているが、全体的に無解答率が市よりも多い傾向にある。	漢字の書き取りだけでなく、間違いやすい漢字の読み取りにも力を入れ、より正確な表記ができるようにさせたい。
文法・表記・言葉遣い (85.2%)	宇都宮市の正答率を若干下回っている。「漢字の部首」では3ポイント上回ったものの、「文節の分け方」では7.5ポイント下回っている。	「文節に分けたもの」という設問で「単語」に分けたものを選択した誤答が多かったので、文法に関する基本的な知識の反復練習を取り入れていきたい。
作文 (90.1%)	高い正答率だが、宇都宮市の平均正答率を2.4ポイント下回っており、無解答率が市よりも高い傾向にある。説明的文章の要約の正答率が低い。	意見文や体験文の学習以外にも、説明的文章を要約する機会を多く持つ必要がある。